

平成29年度

社会福祉法人 木曾社会福祉事業協会

事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

目次

法人本部	2
木曾ねざめ学園	5
障害者支援施設 上松荘	10
グループホーム 麦の穂	23
相談支援事業所 りんくきそ	32
木曾障がい者総合支援センターともに	33
ワークステーション すてっぴ	50
こまくさワークセンター	55
木曾こどもセンター	62
ひのきちゃんハウス	68

平成 29 年

4 月

1 日 法人始業式

5 月

26 日 平成 28 年度決算監査 於:上松荘

6 月

5 日 理事会 於:上松荘

- (1)議案第 1 号 平成 28 年度事業報告の承認について
- (2)議案第 2 号 平成 28 年度収支決算の承認について
- (3)議案第 3 号 理事及び監事の選任について
- (4)議案第 4 号 役員報酬規程の改正について
- (5)議案第 5 号 評議員会の招集について
- (6)協議報告事項 法人社会福祉充実計画について

19 日 評議員会於:上松荘

- (1)報告第 1 号 平成 28 年度事業報告の承認について
- (2)議案第 1 号 平成 28 年度収支決算の承認について
- (3)議案第 2 号 理事及び監事の選任について
- (4)議案第 3 号 役員報酬規程の改正について
- (5)議案第 4 号 社会福祉充実計画について

19 日 理事会 於:上松荘

- (1)議案第 5 号 理事長の互選について
- (2)議案第 6 号 業務執行理事の選出について
- (3)議案第 7 号 理事の役割について
- (4)議案第 8 号 平成 29 年度第 1 次収支補正予算(案)について

7月

19日 法人役員歓送迎会

28日 上松町長 第1回お出かけ町長室於:上松荘

9月

30日 職員新規採用試験 (第1次) 於:上松荘

10月

18日 理事会 於:上松荘

(1)議案第9号 給与規程の一部改正について

(2)議案第10号 平成29年度第2次収支補正予算(案)について

(3)議案第11号 木曾ねざめ学園 定員の変更について

(6)協議報告事項理事長 職務執行状況報告

職務担当理事からの報告等

11月

11日 職員新規採用試験 (第2次) 於:上松荘

12月

6日 木曾郡町村会 28年度予算書提出於:文化公園駒っこホール

11日 上松町副町長・担当課長との打ち合わせ

18日 上松荘 調理業務委託入札

平成30年

1月

18日 職員新規採用試験 (第3次) 於:こまくさワークセンター

24日 法人接遇研修於:上松町公民館

26日 職員新規採用試験 (第4次)

2月

22日 理事会於:上松荘

- (1)議案第 12 号 就業規則の一部改正について
- (2)議案第 13 号 嘱託・臨時職員等就業規則の一部改正について
- (3)議案第 14 号 給与規程の一部改正について
- (4)議案第 15 号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- (5)議案第 16 号 ハラスメント防止要綱の制定について
- (6)議案第 17 号 平成 29 年度第 3 次収支補正予算(案)について
- (7)議案第 18 号 施設長の任命について

3 月

8 日 職員内部昇格試験 於:上松荘

27 日 理事会於:上松荘

- (1)議案第 19 号 平成 29 年度第 4 次収支補正予算(案)について
- (2)議案第 20 号 平成 30 年度事業計画及び収支予算(案)について
- (3)議案第 21 号 苦情解決第三者委員の選任について
- (4)議案第 22 号 理事長職務代理者の指名について

◎月例開催苦情解決第三者委員 来訪相談

ねざめ学園	6/17	10/21		
上松荘	5/19	8/25	11/17	2/23
こまくさワークC	7/21	3/23		
WS すてつぷ	9/22			
ひのきちゃんH	4/14	12/22		
こどもセンター	1/26			

法人施設代表者会議於:上松荘

4/1	5/2	6/2	7/4	8/4	9/4	10/4	11/2	12/4
1/9	2/2	3/1						

◎随時開催内部理事打ち合わせ会議

1/17 2/8

1. 入所状況 (定員 40 名)

平成 29 年度推移表

(1日現在)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍数(名)	30	30	30	32	34	37	39	40	40	40	40	40	—
入所率(%)	75.0	75.0	75.0	76.3	78.0	80.4	82.9	85.0	86.7	88.0	89.1	90.0	—
入所数(名)	0	0	2	2	3	2	1	0	0	0	0	0	10
退所数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7※	7

※3月末、高校生4名が社会自立、1名が進学(新住居の関係で退所は翌年度4月)、小学生3名が家庭復帰

一時保護・ショートステイ

平成 29 年度 0件

2. 職員体制

全職員数……23名(常勤22名:正職員21名 嘱託2名)

※年間を通し職員定数に達しない状況で、平成30年4月採用に向け、未来の就労者育成事業や養成校へ積極的に訪問し、学校担当者への説明や就職を希望する学生との個別面談などにより、平成30年度4月の新規採用者4名(保育士2名、指導員1名、調理員1名)を確保することができた。

調理職員ではパート職員の募集を随時行った。(平成29年5月より1名雇用:11月退職、平成29年9月より1名雇用、平成29年11月より1名雇用)

3. 園内行事等実施状況

4月	各担当に分かれてお楽しみ会実施	ひな祭り
5月	春の奉仕活動	ゴールデンウィークお楽しみ会 水難事故現場お参り(昭和58年に起きた水難事故現場にて献花)
6月	開園記念日	
7月	ひのきの里の夏祭り参加	
8月	夏休み在園児童お楽しみ会	キャンプ
9月	諏訪神社例大祭参加	
10月	班活動等	
11月	秋の奉仕活動	七五三参拝 バス旅行
12月	餅つき(関西電力労組ボランティアの方々とともに) クリスマス会	
1月	冬休み在園児童お楽しみ会	
2月	班活動等	
3月	卒園式	

*この他に管理栄養士による調理実習、誕生日児童の夕食等を計画し実施しました。

4. 平成29年度 大学・短大生の実習受け入れ(実習期間2週間)

カレッジオブキャリア 平成29年5月、平成30年2月(各1名 計2名)

松本短期大学 平成29年8月、平成29年11月(各2名 計4名)

山梨学院短期大学 平成29年9月(4名:2名ずつ2回)

清泉女学院短期大学 平成29年9月、平成30年2月(各2名 計4名)

長野県福祉大学校 平成30年1月、平成30年2月(各2名 計4名)

飯田女子短期大学 平成30年2月(2名)

5. ボランティアの受け入れ、寄付等

平成29年度にボランティアとして来園された方々

4月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
5月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
6月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
7月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
8月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
9月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
10月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
11月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
	ダスキンレディ清掃ボランティア	園内窓ガラス等の拭きとり清掃
12月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
	関西電力労組木曾川支部	餅つき及び交流ボランティア・洗濯機他寄贈
	郵便局清掃ボランティア	郡内の職員さんらによる大掃除ボランティア
1月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
2月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
3月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児ボランティア
	木曾調理師会上松支部	卒園式のお弁当

寄付について

上松町内外の個人、法人、団体様など多くの方より子どもたちへ心を寄せていただくとともに、施設運営等に深いご理解をいただき、年間を通して多くのご支援を頂戴致しました。

6. 地区行事への参加について

倉本地区観音様祭礼(4月)
立町地区お花見(4月)
立町地区作業(6月、11月)
神明神社例大祭(10月)
どんど焼き、お楽しみ会(1月)

7. 一般財団法人長野県児童福祉施設連盟主催行事参加について

長野県児童福祉施設児童球技大会(野球・卓球)出場(7月 須坂市)
長野県児童福祉施設中信地区児童交歓会への参加(7月幼児、8月低学年、10月高学年)

8. 関係機関との連携について

小学校・中学校との連携については、担当職員が担任の先生と連絡を密にし、行事などに積極的に参加し、個々の子どもへの理解を深め情報共有をしています。その上で、学校との連絡会等において、組織相互の状況や役割を把握し連携体制を強化することにより、子どもたちが安心して学校へ通うことのできる環境づくりをしています。

児童相談所とも、日頃の担当者間の情報交換を十分に行い、その上でケース検討会等を実施し、子どもたち一人一人に最良な家族を含めた支援の方向性の確認・共有をしています。

研修会等への積極的参加により、職員個々のレベルアップをはかり日々の支援の向上に努めるとともに、園や児童福祉、地域福祉など広い視野に立って課題を把握・認識し、解決に向けて検討していくことができる職員の体制づくりを目指します。

4月	中学校との連絡会	県・児童相談所との連絡協議会
5月	小学校との連絡会 町内教育関係者研修会	松本児童相談所管内施設連絡会
6月	松本児童相談所ケース検討会 青少年健全育成推進委員会	新任職員研修

7月	家庭的養護推進研修事業初任者研修会 社会を明るくする運動の会議	松本児童相談所管内施設連絡会
8月	特定給食施設従事者研修会	
9月	小学校との連絡会 県社会教育研修会	松本児童相談所管内施設連絡会 諏訪児童相談所管内施設連絡会
10月	中学校との連絡会	福祉保健医療懇談会
11月	児童虐待・DV防止市民研修会	町内教育関係者研修会
12月	家庭的養護推進委員会	学社連携協働フォーラム
1月	中堅職員研修 木曾地域虐待防止ネットワーク会議	性に関する研修会
2月	福祉保健医療懇談会 基幹的職員研修	児童相談所、支援職員合同研修会
3月	松本児童相談所管内施設連絡会	

9 児童職員らによるボランティア活動

5月と11月「奉仕活動」にて、倉本駅から学園までの歩道、立町地区・諸原地区の道路周辺のゴミ拾いを行いました。

10 長野県福祉指導監査

平成29年9月27日実施

指摘事項はありませんでした。

はじめに

29年度は、日課の見直しを行い、無理なくゆったりとした生活を送っていただくようにしました。そしてご要望をうかがい、一人ひとりにあつた支援を行ってきました。また、これまで屋外作業棟で行っていた一部の活動を、移動中の安全面等に配慮して室内で行うようにしました。

設備・改修は、東棟の手洗い器を車椅子利用者も使いやすいものに変えました。北デールームには、エアコンを設置し1年を通して快適に過ごせるようにしました。車椅子移動用の中古軽自動車は、狭い駐車場での使用や職員一人でも簡単に操作できるので、外出や通院等にフットワークよく使用しています。

1. 利用者の状況（※施設入所支援 定員40名 利用者42名）

利用者の平均年齢は55歳を超え、重度・高齢化が進んでいます。複数の障がいを含わせて持っている方が多くいます。

1) 利用に係る主障がい

障がい名	知的障がい	身体障がい	精神障がい	計
人数	38	3	1	42

2) 障害者手帳所有状況

療育手帳	A1	A2	B1	B2	計
人数	29	2	7	0	38

身体障害者手帳	1種1級	1種2級	1種3級	2種3級	2種5級	2種6級	計
人数	4	6	1	1	1	1	15

精神障害者手帳	1級	2級	3級	計
人数	2	0	0	2

3) 障害支援区分人員

年齢	20未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	1	0	1	0	2
区分5	0	0	0	1	2	2	1	6
区分6	0	2	0	12	6	7	7	34
計	0	2	0	14	8	10	8	42

4) 男女利用者状況(最高齢83歳 名、最年少28歳)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
男	0	2	0	9	4	4	4	23
女	0	0	0	5	4	6	4	19
合計	0	2	0	14	8	10	8	42

2. 職員配置及び委員会の取り組み、各種研修会の開催・参加状況

1) 職員の配置

職種	施設長	サービス管理責任者	支援員	看護師	理学療法士	管理栄養士	事務員	嘱託医	合計
人数	1	1	28	2	1	1	2	(1)	36(37)

2) 各種委員会の実施状況

利用者の権利擁護・安全・健康管理、質の高いサービス提供のために委員会を開催しました。

委員会名	実施回数	内 容
虐待防止委員会	11回	虐待防止チェックリストの検証、振り返りノートの検討とまとめ
事故防止委員会	12回	事故報告書・ヒヤリハットの検証と対策、検証後の再確認等
感染予防委員会	回	感染症予防対策講習会の実施、感染症発生時の対策と検証
サービス向上委員会	1回	苦情解決相談(年4回)内容の検討、アンケート調査の課題の検討、投書箱内容検討
広報委員会	随時	機関誌の編集、原稿依頼、印刷会社との打ち合わせ、機関誌 54,55 号の発行、発送手続き等
身体拘束検討委員会	2回	身体拘束を含む特別支援についての検討、記録様式等の検討、利用者状況の報告と検討

3) 職員研修会実施及び参加状況

利用者の多様化に伴い、職員の専門性・資質向上のために研修会を開催しました。

職場内研修会の開催			
内 容	4/24	救急救命法	外部講師
	4/25	障がい者虐待防止法伝達研修	内部講師
	6/1	自閉症・強度行動障がい研修	外部講師
	7/3	高齢化する障がい者の支援	外部講師
	7/26	障がい者虐待研修	外部講師
	10/2	精神障がいを持つ方への支援	内部講師
	11/1	感染症予防と対策	外部講師
	11/8	感染症対応研修	内部講師
	1/9	障がい者虐待防止法伝達研修	内部講師

3. サービスの提供内容（生活介護・施設入所支援）

利用者個々の状態やニーズ添って、主体性を重視し健康的で豊かな生活が送れるように支援してきました。

1) 日中活動（月～金曜日）

生きがいのある生活が送れるように、ひとりひとりに合った日中活動を提供してきました。

グループ名	内 容	利用者実人員	
たんぽぽ	・カレンダー作り ・行事の飾り作り	14名	
ひまわり	・ちり紙たたみ ・エプロンたたみ ・ペットボトル、空き缶片付け	19名	
コスモス	・キャップさし、 ・パソコン 等	AM	10名
		PM	4名

2) 生活・余暇支援

①<カルチャー教室>

ボランティアの講師の先生にご指導いただきました。また、作品の展示や発表の場を作ってきました。

教室名	開催日	参加利用者数
音楽教室	毎月第1土曜日	自由参加
茶道教室	毎月第2土曜日	4名 GH:1名
華道教室	毎月第4土曜日	5名 GH:2名

②<外出支援>

利用者の皆さんの一番多い希望は「外出」です。生活の張り合いになるように多くの外出を行ってきました。

◎外出:買い物、食事等、利用者の希望を伺いながら行いました。

月	回数	参加人数	月	回数	参加人数
4	5	6名	10	12	15名
5	17	32名	11	14	17名
6	8	17名	12	8	11名
7	14	18名	1	2	2名
8	16	25名	2	1	2名
9	9	15名	3	12	21名
合 計		118回			181名

主な外出先:伊那市、松本市、塩尻市、長野市、諏訪市、恵那市、木曾郡内

③<行 事>

季節を感じ、張り合いのある生活が送れるように行事等を行ってきました。(※家族会行事)

4 月

17 日 お花見(行事食、お花見ドライブ) 23 日 ※家族会総会

5 月

8 日 端午の節句:
行事食クッキング(デザート作り) 21 日 ※家族会環境整備
12 日 グループ旅行①こだまの森散策 23 日 グループ旅行②
とバーベキュー(木祖村) 東山動物園(名古屋市)

6 月

3 日 木曾郡ふれあいスポーツ 22 日 グループ外出③
交流会(大桑村スポーツ公園) ボウリング、焼き肉(南箕輪村)

7月

30日 ※家族会環境整備 祭礼外出(藪原、福島、上松)

8月

4日 七夕夏祭り
22日 グループ外出⑤
9日 グループ外出④ 中津川ふれあい牧場(中津川市)
白樺湖ファミリーランド(立科町)

9月

6日 グループ外出⑥
プリンス&スカイライン
ミュージアム(岡谷市)
21日 敬老の会:舞-DANCE-KISO
踊りとダンス等
10日 長野県障がい者
スポーツ大会(松本市)
26日 グループ外出⑦木曾馬の里
(木曾町開田高原)

10月

1日 ※家族会環境整備
26日 グループ旅行⑧ブドウ狩り
21日 第35回朋友祭 総勢138名 (伊那市みはらしファーム)

11月

クッキング月間
30日 長野県知的障がい
福祉大会(上田市)
18日 家族会と職員の親睦会
(ねざめホテル)

12月

21日 クリスマス会(行事食)

1月

中止 新年会(行事食)、どんど焼き

2月

中止 節分

3月

5日 ひな祭り
お話の会めっきらもっきら、行事食
20日 グループ外出⑨いちご狩り
(伊那市みはらしファーム)

4. 健康管理

◎障がい特性による心身の健康管理の他、高齢化への対応や集団生活における感染症の予防と対策に努めてきました。

1) 各種検査、予防接種等

・胸部レントゲン検査	11月16日	・心電図、眼科健診	11月16日
・インフルエンザ予防接種	11月13日	・血液検査	12月15日
・歯科検診(松本歯科大による定期健診)	12月 5日	・健診、医務相談 必要に応じて随時実施	
		・集中口腔ケア	毎月 2回

2) 特別な医療を要する利用者

・留置カテーテル 3名	・膀胱ろう	1名(留置カテーテルと兼ねる)	
・自己導尿 1名	・胃ろう	0名	・じょくそうの処置 2名

3) 医療機関への通院(ひとりひとりの状態にあった医療機関を利用しました)

医療機関	受診科種別	受診実人員	受診延人員
木曾病院	精神科	31名	193名
	内科	6名	28名
	泌尿器科	12名	103名
	外科	9名	30名
	整形外科	6名	11名
	その他	13名	39名
大脇医院	内科	(日中のみ生活介護)44名	197名
信濃医療福祉センター	整形外科	3名	3名
愛知ココニー	精神科	1名	4名
合計			608名

4) 入院の状況

医療機関	入院種別	入院期間
木曽病院	神経内科	H29,4/ 4 ~ 6/10
〃	整形外科	H29,6/26 ~ 7/6
〃	内科	H29,7/10 ~ 7/23
〃	泌尿器科	H29,12/24 ~ 12/28
〃	眼科	H30,2/19 ~ 3/2
〃	外科	H30,3/6 ~ 3/26
合 計		6名

5) 金松先生に来荘していただいて、利用者との面接や職員への助言をしていただきました。

来荘回数	診療実人員	診療延人員
9回	(生活介護含)43名	80名

6) 松本歯科大の先生に来荘していただいて、歯科診療を受けました。

来荘回数	診療実人員	診療延人員
22回	24名	164名

7) リハビリ訓練実施状況

身体に障がいがあったり、加齢によって機能低下がみられる利用者の皆さんに対して、専任の理学療法士がリハビリ訓練を行いました。

訓練内容	対象利用者	実施回数	年間延人数
個別機能訓練、関節可動域訓練、筋力増強訓練、ADL動作訓練	27名 (1日 6~7名)	170回	1,190名
小集団(リハレク)SST、歌、軽体操、レクレーション等	20名 (1日 10~12名)	80回	960名

8) 職員のメンタルケア:臨床心理士によるカウンセリング

職員の状況や希望を受けて、悩みやストレスを専門的にカウンセリングで相談できるようにしました。

実施月	4月	6月	合計
回数	1	1	2回
延人数	2	2	4名

5. 食事支援と栄養管理

利用者の皆さんに食事を美味しく食べていただくために味や見た目だけでなく健康状態や障がいの特性に配慮した食事支援を全職員が統一して行えるよう努めてきました。

○栄養ケア・マネジメントの実施

* 入所利用者全員の健康状態や体重変化、食事摂取状況を把握し個人個人の食事支援計画を作成。3ヶ月に1回見直しを行ってきました。

* 利用者一人一人の健康状態や障がいに配慮した食事の提供を行っています。
(食分量、刻み食、おかゆ食、特殊食器の使用、食事環境、食事時間をずらす等)

* ご本人、ご家族との面談をし、情報の提供と交換を行いました。

○行事食、選択食の提供

* 季節に合った行事食と麺類や丼物等の選択食をそれぞれ1ヶ月に1回ずつ行ってきました。

月	行事及び内容	月	内 容
4	始業式、お花見会	10	朋友祭、ハロウィン
5	端午の節句	11	選択食
6	スポーツ大会(参加者は弁当)	12	クリスマス会、冬至、大晦日
7	夏の冷やし麺等の選択食、土用の丑の日	1	元旦、他は中止
8	七夕会	2	中止
9	敬老会	3	ひな祭り

6. 苦情受付等の内容と件数

1) 利用者さんにご家族からの苦情を受け付けました。

苦 情 内 容	件 数
利用者への苦情	0件
職員への苦情	0件
活動に関する苦情	0件
その他(旅行、帰省、余暇)	0件
合 計	0件
人権侵害に係る件	0件

2) 第三者委員に利用者の苦情相談を行っていただきました。

◎実 施 日:5/19、8/25、11/17、2/23

◎相談内容：家族のこと、友達のこと、旅行や外出に行っていて楽しかったこと、公用車が古くなったから変えたほうがいい等

7. 事故報告・ヒヤリハットについて

事故報告・ヒヤリハットは、事故防止委員会で毎月検証し会議で確認してきました。

29年度は、骨折1件と重大事故1件が発生しました。職員の業務内容や動き等を検証し再発防止に努めてきました。ヒヤリハットは、事故に繋がると思われるもの全てを報告していません。

月	事故内容											計	ヒヤリハット 件数
	骨折	打撲	切傷擦傷	異食	誤嚥	その他外	誤薬	忘薬	落薬	重大事故	無断外出		
4	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	4	9	19
5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	6	18
6	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	6	15
7	0	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	8	10
8	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	2	7	10
9	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	3	7	12
10	0	1	2	0	0	1	0	1	2	0	3	10	16
11	0	1	5	1	0	4	0	0	0	0	1	12	11
12	0	2	3	0	0	0	0	1	0	0	2	8	10
1	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	6	6
2	0	3	3	0	0	2	0	0	0	1	1	10	16
3	0	3	5	0	0	3	1	0	1	0	2	15	11
計	1	15	35	4	0	13	5	3	4	1	23	104	154

8. 防災及び避難訓練等の取り組み

火災が起きないように日々の点検と、万一の災害に対して人命を優先した利用者を含む避難訓練を地元消防団と連携し行い、消火訓練・通報訓練も行ってきました。

実施日	実施内容
5月1日	夜間火災想定とした避難誘導訓練、職員応援要請訓練 初期消火訓練、町消防団参加
9月1日	日中土砂災害を想定した避難誘導訓練(第2避難所へ公用車にて移動)
11月8日	夜間火災想定とした避難誘導訓練、通報訓練、町消防団参加
3月1日	日中火災想定とした避難誘導訓練、消火器・消火栓の取り扱い訓練

9. 木曾圏域の障害福祉の拠点として

上松荘が地域の社会資源のひとつとして存在することを認識し、障がいの有無を問わず緊急の受け入れや短期入所事業等、在宅で生活している方にも必要なサービスを提供してきました。また、地域の皆さんがボランティアを通して利用者と交流する場を設けてきました。

短期入所利用者数(定員6名)

利用者数が少なくなってきています。他のサービス利用等からと思われます。

大人の利用者延人数	子どもの利用者延人数	延べ人数合計	1日当たり
612名	0名	612名	1.7名

2) 対外的リハビリ訓練、療育相談等

町村等の要望を受けて理学療法士を派遣し、地域の皆さんにご利用して頂きました。

派遣場所	訪問回数	延人員	実施内容
・王滝村 乳幼児健診	2回	8名	・運動発達のチェック ・母親への助言 ・スタッフカンファレンス
・上松町 5歳児相談	2回	28名	・集団検査(遊び、リズム、ルールのある内容) ・個別検査 ・スタッフカンファレンス ・親への結果の返し
・王滝村 5歳児相談	1回	2名	
・南木曽町 5歳児相談	3回	2園 36名	・リズム場面での助言指導 ・スタッフカンファレンス ・5歳児相談時の巡回フォロー
・上松町 遊びの教室	3回	38名	未就児とその親を対象に、子供の得意な面の伸ばし方、苦手部分への関わり方、運動発達を遊びを通じて促す
・南木曽町 遊びの教室	8回	48名	

・木曽こどもセンター	8回	38名	保護者支援としてペアレントトレーニングの実施、利用児への関わり、スタッフカンファレンス
・ひのきちゃんハウス	4回	20名	
訪問合計	31回		

3) ボランティアの受け入れ

利用者の皆さんと地域の方との交流を図りながら障がいに対する理解を深めてもらうために、施設の行事や取り組みへの参加協力を呼び掛けてきました。多くの皆さんにご協力いただきました。

年間受入回数	年間延人員	ボランティアの内容
30回	116名	環境整備、カルチャー教室講師、朋友祭露店、花壇整備、清掃等

10. 施設実習生等の受け入れ

施設や障がいの理解、後継者の育成のために施設実習の受け入れを行ってきました。

○保育士養成のための施設実習の受け入れ

学 校 名	人 数	受け入れ期間
清泉女学院短期大学	2名	H29,7/31 ~ 8/11
	2名	H30,2/26 ~ 3/9
信州豊南短期大学	2名	H29,8/14 ~ 8/25
	1名	H29,11/6 ~ 11/18
	1名	H30,2/12 ~ 2/23
松本短期大学	2名	H29,8/28 ~ 9/8
飯田女子短期大学	2名	H30,3/12 ~ 3/23

- 介護等体験 明星大学通信教育部 1名 H29,10/23 ~ 10/27
- 異業種体験研修 木曽養護学校教員 1名 H29,7/31 ~ 8/1
- 施設交流研修 アルプス学園職員 1名 H29,10/11

グループホーム事業報告

29年度地域のニーズにこたえ、短期入所の定員を3名に増やしました。

年度当初は利用数が少なかったが、現在では定期的に利用される方も増え収入も増えてきています。

利用者の高齢化、重度化の課題について職員のスキルアップを行い適切な支援ができるよう法人の研修会に積極的に参加しました。

利用者の通院、外出等に関して、行動援護の事業を申請していく予定でしたが条件が整わず実施できませんでした。

第8グループホームの開設については県への申請は終わり30年度に進めていく予定にしている。

1) 食事支援

栄養のバランス、体調に合わせた食事の提供

食べやすいための刻み食等の配慮

糖尿病等の病気に配慮して食事を提供する

2) 住環境への支援

居室の清掃、片づけを定期的のご本人と行う

3) 健康面

毎日の健康チェック実施

健康診断

定期的な通院支援

年1回健康診断を受けていただき健康状況を把握。

予防接種

4) 余暇支援

帰省できない方が増えて来ている中外出を多くできるように支援を行う。

法人内の事業所の行事への参加。

地域の行事への参加を積極的に行う。

1. グループホームの現状

1) 障害種別(主障害)

	定員	知的障害	精神障害	発達障害
計	40	36	3	1

2) 障害支援区分

ホーム名	性別	定員	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
松の木寮	男性	7	0	0	1	3	2	1
ささゆり荘	女性	5	0	0	0	1	2	2
こぶし荘	男性	5	1	0	0	1	2	1
れんげ荘	女性	6	0	0	1	4	0	1
やまぶき荘	男性	3	0	0	2	1	0	0
	女性	3	0	0	1	0	1	1
うらしま	男性	6	0	2	2	2	0	0
すみよし	男性	2	0	2	0	0	0	0
	女性	3	0	1	1	1	0	0
計		40	1	5	8	13	7	6

3) 年齢別 (平均年齢 52 才)

ホーム名	性別	定員	20代	30代	40代	50代	60代	70代
松の木寮	男性	7	0	0	0	5	0	2
ささゆり荘	女性	5	0	0	0	1	0	4
こぶし荘	男性	5	0	2	0	1	1	1
れんげ荘	女性	6	1	0	3	2	0	0
やまぶき荘	男性	3	0	1	0	0	2	0
〃	女性	3	1	0	1	1	0	0

うらしま	男性	6	1	1	1	1	2	0
すみよし	男性	2	2	0	0	0	0	0
〃	女性	3	0	0	0	3	0	0
計		40	5	4	5	14	5	7

4) 出身町村

ホーム名	性別	定員	木曾	上松	南木曾	王滝	大桑	木祖	その他
松の木寮	男性	7	3	1	0	0	1	0	2
ささゆり荘	女性	5	0	1	1	0	1	0	2
こぶし荘	男性	5	2	0	1	0	2	0	0
れんげ荘	女性	6	0	1	0	0	2	0	3
やまぶき荘	男性	3	1	0	0	0	0	1	1
〃	女性	3	3	0	0	0	0	0	0
うらしま	男性	6	1	4	0	0	1	0	0
すみよし	男性	2	0	0	2	0	0	0	0
〃	女性	3	0	0	2	0	1	0	0
計		40	10	7	6	0	8	1	8

5) 日中活動の場(重複利用)

ホーム名	定員	就労継続A型	就労継続B型	生活介護	地域活動センター	介護施設	一般就労	生活訓練 自立訓練	支援 日中一時
松の木寮	7	0	6	1	0	1	0	0	0
ささゆり荘	5	0	1	4	0	2	0	0	2
こぶし荘	5	0	3	2	0	0	1	0	2
れんげ荘	6	1	5	0	0	0	0	0	0

やまぶき荘	6	0	3	2	1	0	0	0	1
うらしま	6	0	5	0	0	0	0	1	0
すみよし	5	1	3	0	3	0	0	0	0
計	40	2	26	9	4	3	1	1	5

上松荘カルチャー教室

茶道	第2土曜日	1名
華道	第4土曜日	1名

6) 職員体制

職員	職種	専任・兼務	備考
女性	施設長	専任	
女性	サービス管理責任者	専任	
女性	サービス管理責任者	専任	
女性	世話人(ささゆり荘)	専任	嘱託
女性	世話人(松の木寮)	専任	嘱託
女性	世話人(れんげ荘)	専任	嘱託
女性	世話人(こぶし荘)	専任	嘱託
女性	世話人(やまぶき荘)	専任	嘱託
女性	世話人(うらしま)	専任	嘱託
女性	世話人(すみよし)	専任	嘱託
男性	生活支援員	専任	
男性	生活支援員	専任	
女性	生活支援員	専任	計12名
男性	宿直専門員	専任	

7月

2日	松本外出	23日	カルチャー参加
8日	藪原祭礼外出	30日	ひのきの里の夏祭り参加
22日	木曾町水無神社祭礼参加		

8月

9~13日	利用者外出 (伊那市 松本市)	27日	ねざめ地区防災訓練参加
-------	--------------------	-----	-------------

9月

10日	障がい者スポーツ大会 (松本市)	9日	上松祭礼参加
-----	---------------------	----	--------

10月

1日	在宅者交流会参加	8日	上松町町民運動会
3日	水害を想定した避難訓練	13日	相撲観戦(長野市)

11月

3日	トキワ祭り参加	30日	福祉大会 (上田) 利用者2名
17日	上松町希望の旅		
26日	フロアーホッケー大会参加		

12月

10日	在宅者交流会 クリスマス会	14日	夢コンサート(飯田市)
-----	---------------	-----	-------------

2月

4日	在宅者交流会
----	--------

3月

4・9・15日	外出
---------	----

9) 職員会議 研修等

4月

1日	法人始業式 代表者会議	19日	南木曾町地域ケア会議
7日	職員会議		

5月

2日	代表者会議 世話人会議	22日	サビ管等連絡会
9日	生活支援部会	24日	南木曾町地域ケア会議
10日～	行動援護従事者研修	30日	知障協総会 中信支部総会
19日	虐待防止研修会(こまくさ)		

6月

1日	上松荘研修会	12日	相談支援専門員連絡会
2日	代表者会議	19日	法人評議員会
3日	手をつなぐ育成会総会	23日	南木曾町地域ケア会議
5日	法人理事会	27日	生活支援部会
6日	世話人会議	28日	サビ管等連絡会

7月

3日	上松荘研修会	24日	南木曾町地域ケア会議
4日	代表者会議 世話人会議	25日	相談支援専門員連絡会
5日	木曾地域自立支援協議会 全体会	26日	生活支援部会
12日	発達障害サポート養成講座 研修	27日	中信地区世話人連絡会 (木曾町)
20日	大桑村 GH 説明会	28日	サビ管等連絡会

8月

4日	代表者会議 世話人会議	10日	権利擁護部会
7日	生活支援部会	24日	サビ管等連絡会

9月

1日	相談支援従事者現任研修	21,22日	相談支援従事者現任研修
4日	代表者会議	26日	障害者福祉サービス事業所 集団指導
5日	世話人会議		
8日	生活支援部会	28日	サビ管等連絡会

10月

2日	上松荘研修会	25日	木曾地域世話人連絡会
3日	世話人会議	26日	木曾郡特別支援教育 連携協議会 AED研修(こまくさ)
4日	権利擁護部会		
10日	県 グループホーム部会 生活支援部会	25,26日	防火管理研修
18日	法人理事会	30日	サビ管等連絡会
24日	サビ管スキルアップ研修		

11月

2日	代表者会議	21日	南木曾町地域ケア会議
7日	世話人会議	22日	権利擁護研修 (松本合庁)
13日	感染予防研修会 木曾合庁	29日	サビ管等連絡会
16日	精神保健支援者研修	30日	知障協福祉大会 (上田市)
20日	相談支援専門員連絡会		

12月

1日	世話人会議	19日	サビ管等連絡会
9日	心の健康研修会	21日	相談支援専門員連絡会
18日	南木曾町地域ケア会議		

1月

5日	世話人会議	16日	権利擁護部会
9日	代表者会議	22日	南木曾町地域ケア会議
13日	重心コンダクターチーム 研修会	24日	法人職員研修会
		29日	サビ管等連絡会

2月

2日	世話人会議	21日	南木曾町地域ケア会議
6日	生活支援部会	23日	木曾地域世話人連絡会
20日	相談支援専門員連絡会	27日	法人理事会

3月

1日	代表者会		災害時における要介護者 支援の研修会（木曾合庁）
2日	世話人会議		
6日	生活支援部会	19日	南木曾町地域ケア会議
7日	重度心身障がい者 コンダクター	20日	障害福祉サービス報酬改定 説明会（松本合庁）
14日	サビ管等連絡会	23日	知障協 総会
16日	障害福祉サービス報酬改定 説明会（松本合庁）	27日	法人理事会

2. 短期入所事業報告

利用者数は増えてきている。定期的に利用する方が増えている。月1回の利用等が多いが、ホームでの生活に慣れてきている。個々のニーズに合わせた利用ができています。

緊急での受け入れも行っている。

1) 短期入所者利用実績

月	利用日数	男性	女性	精神	知的	身体	発達	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
4	4		2	1	1				2				
5	9		2		2				1		1		
6	13		3		2	1			1		2		
7	10		3	1	1	1			2		1		
8	12		2	1	1				2				
9	4		1			1					1		
10	0												
11	2		1	1					1				
12	9		2	1	1				2				
1	19		2	1	1				2				
2	8		2	1	1				2				
3	43	1	4	4	1				5				
計	133	1	24	11	11	2			20		5		

相談支援事業所 りんくきそ活動報告

職員 2 名体制で行っているがグループホームの業務と兼務のため、件数をこなしていくのに限界を感じている。職員の育成を検討していく必要性を感じている。

1. サービス等利用計画実績

総件数	H29 新規件数	モニタリング件数	備考
112 件	9 件	122 件	

2. 障害児支援利用計画実績

総件数	H29 新規件数	モニタリング件数	備考
15 件	10 件	35 件	こどもセンター利用 利用児童

ともに「だれもが自分らしく木曾で安心して暮らしていくために、ともに考え、ともに歩むセンターにします」を運営方針に、障がいのある方及びご家族からの様々な相談を受け、関係機関と連携しながら支援を行っています。精神障がい者には、退院後の地域定着の支援や、福祉サービスまでつながらない引きこもりがちの方たちの行き場づくり、合わせて家族の交流ができる場所づくりを継続してきました。また、国・県の委託を受けた事業の専門職が、当事者支援や支援関係者の資質向上のための各種研修会等を企画してきました。

県の発達障がいに対する支援強化施策により、平成27年度から当センターに配置されました発達障がいサポート・マネージャーは、教育現場を始めとする諸機関の連携強化に努めており、「木曾郡発達支援センター」設立に向けた中心的役割を担いました。

就労支援については、受け入れ先企業が限られており、一般就労は厳しい状況ではありますが、圏域内外の福祉関係事業所、企業関係団体、医療機関などとの連携強化・開拓により、新規の就労希望者や、受け入れ先も増えており、一定の就労件数を維持できています。

平成30年4月より開始します、木曾圏域地域生活支援拠点整備事業(人件費換算 0.5 人)、精神障がい者地域移行支援事業(人件費換算 0.5 人)を町村から委託を受けるにあたり、調整と準備を進めてきました。

木曾地域自立支援協議会事務局の取り組みとして、地域の課題についての協議や関係者の連携体制づくり等に努めるとともに、29年度は自立支援協議会内に「障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、地域全体で差別解消に向けた取り組みを行うこととなりました。また、自立支援協議会活動の周知に向けて「協議会だより」を3回発行(回覧:郡内全戸配布)しました。

1. 職員体制

○センター長 兼務 地域生活支援コーディネーター（相談支援専門員）	1名
○療育コーディネーター	1名
○障がい児コーディネーター	1名
○主任就業支援ワーカー	1名
○就業支援ワーカー	1名
○生活支援ワーカー	1名
○精神障がい者生活支援コーディネーター（相談支援専門員）	1名
○発達障がいサポート・マネージャー	1名
○事務員（パート）	1名

2. 事業内容

- 生活支援（福祉サービスの紹介・調整、余暇活動支援等）
- 療育支援（療育相談、個別療育の設定）
- 就労支援（就労に関する相談・支援、就労支援事業所への助言等）
- 精神保健福祉支援（生活・健康に関する相談、支援）
- 発達障がい支援（支援者に対しての総合的な助言や、必要な支援への橋渡し）
- サテライトによる町村巡回相談
- 計画相談支援
- 障害支援区分認定調査（町村から依頼があった場合）
- 木曾地域自立支援協議会の事務局
- 研修会・講演会等の実施

3. 事業の報告

1) 総相談件数

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
16	101	82	106	198	503

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
1,039	398	446	929	481	154	2,054	84	5,585

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
955	181	174	533	288	726	542	31	45

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
1,458	217	424	11	5,585

2) 療育支援

○療育訓練

- ・委託の OT、ST による個別療育36回実施。
- ・木曾こどもセンター、日義農村環境改善センター、須原地区間館を借用。
- ・利用者数 延 150名

○SST グループ活動(ソーシャルスキルアップ・トレーニング)

- ・8回実施 延24名(場所は、上松町公民館)
- ・スタッフとして木曽病院から療法士派遣

○巡回相談

- ・各町村幼・保育園、小中学校、木曽養護学校、木曽こどもセンターを巡回実施

○その他

- ・町村の母子保健連絡会、5歳児相談、児童支援連絡会等、相談支援実施。
- ・発達障がい児支援のための保護者向け講演会と支援者研修会の企画運営。

相談者所属

児童デイ	保育所	小中学校	特別支援学校	その他
22	129	115	14	16

療育コーディネーター

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
2	8	1	36	128	175

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
199	148	0	64	2	0	212	0	625

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
10	81	101	4	30	364	17	0	8

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
1	2	6	1	625

障がい児コーディネーター

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
7	25	1	59	92	184

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
266	79	5	83	6	25	13	10	487

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
6	60	13	13	7	259	26	1	15

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
2	21	63	1	487

3) 就労支援

国の就業・生活支援センター事業を受け、就業担当者2名を配置。

○対象障がい者の就職件数 ・一般事業所への就職件数 12件

・障がい者求人が少ないなかで、職場開拓、障害者理解をしていただいたうえで就労につながっている。職場定着のため、就労後も障がい者、企業双方への支援を重視しています。

○職場実習のあっせん件数 ・職場実習 20件

・県の補助事業(障害者短期トレーニング事業)を受けて実習を実施。

○その他

- ・企業訪問。
- ・就労支援事業所等利用者に対する相談支援。
- ・就労支援事業所のスタッフの技術向上を目的に学習会を開催。
- ・特別支援学校の実習に同行し卒後の就労に向けたアドバイスを実施。
- ・就職定着支援として「企業で働く仲間たちの集い」を開催(4回)。
- ・自立支援協議会 就労支援部会と連携し就業支援セミナーを開催(約 100 名参加)。
- ・企業関係団体会議・研修会などへの参加。

主任就業支援ワーカー

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
3	55	21	20	11	110

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
215	67	94	170	57	21	217	5	846

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
3	0	0	5	6	0	6	6	0

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
769	0	51	0	846

就業支援ワーカー

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
3	54	9	17	6	89

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
84	12	81	92	109	16	189	40	623

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
46	3	2	2	37	0	14	1	1

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
438	1	78	0	623

4) 精神保健福祉支援

精神障がい者生活支援コーディネーター

○ 相談内容

- ・健康、医療、不安解消、情緒の安定、家族人間関係に関する相談。
- ・福祉サービス、制度の活用(関係機関と連携)。
- ・年金・手帳申請手続き及び準備。
- ・就労相談(就業支援ワーカーとの連携)。

○ 家族支援

- ・精神障がい者の家族(おかあさん)の会を開催。勉強会や情報交換、リフレッシュの場としている。
- ・ともに主催の「こころをつなぐ家族の交流会」を4回実施し、その中で父親中心の「おやじの会」も開催した。

名 称	回数	参加者	内容
おかあさんの会	2回	延べ30名	内容:茶話会・リラクゼーション 学習会参加
こころをつなぐ家族の交流会	4回	延べ75名	内容:うたの会、レクレーション、運動、昼食会等

○ その他

- ・難病、長期療養者のリハビリ、レクレーションを行う中で、障がいサービス利用への相談にもつながっている。
- ・高齢者と障がい者の音楽の会は、参加者が増えてきている。

保健所デイケア支援	4回	内容:音楽、レクレーション、グループワーク
難病交流会支援	4回	内容:軽体操、音楽、ゲーム、作業療法、理学療法、相談会
音楽の会	12回	内容:高齢者、障害者への音楽を使った会

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
3	14	70	11	8	106

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
114	65	18	370	262	57	1204	2	2,092

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
649	33	54	488	124	41	388	20	15

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
95	177	0	8	2,092

5) 生活支援

生活支援ワーカー

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
4	56	6	16	5	87

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
60	9	136	14	18	3	13	2	255

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援

10	1	0	8	21	0	49	3	5
----	---	---	---	----	---	----	---	---

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
38	10	109	1	255

6) 発達障がい支援

発達障がいサポート・マネージャー

○教育機関との連携

発達障がい者とその家族が、将来の見通しある社会生活を送れる体制を整備するため、支援者(教育関係等)に対して総合的な助言や支援の橋渡し等を行いました。

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
0	3	2	20	13	38

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
41	11	0	23	0	27	2	0	104

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
3	0	4	1	20	62	2	0	1

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
5	6	0	0	104

7) 地域生活支援

地域生活支援コーディネーター

○地域の障がい児者の様々なニーズに対応できるサービス提供や、それらを提供できる地域の体制整備等を行いました。

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
5	62	6	7	2	82

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
60	7	112	113	27	5	204	25	553

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
228	3	0	12	43	0	40	0	0

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	利擁護に関する支援	計
110	0	117	0	553

8) サテライト(町村巡回相談日)

○巡回相談回数

町 村	実施状況	
木曽町	福島(保健センター)	毎月
	開田 三岳 日義	月毎の輪番
南木曽町	毎月	
上松町	毎月	
大桑村	隔月	
木祖村	隔月	
王滝村	毎月	

※上松町、王滝村は「こころの相談」として精神障がい者生活支援コーディネーターが出向きました。

9) 計画相談支援

・指定相談支援事業所として、主に障がい福祉サービスを利用する方に対して計画相談支援を行いました。

○計画相談支援数(モニタリング含)

木曽町	11件	王滝村	0件	大桑村	3件
上松町	1件	木祖村	1名	他圏域	2件

10) 障害程度区分認定調査

○木曽郡内町村の支援区分認定調査依頼を受け実施しました。

11) 木曾地域自立支援協議会

- ・事務局として専門部会運営

6つの専門部会の開催。(就労支援部会、療育支援部会、生活支援部会、精神保健福祉部会、当事者部会、権利擁護部会)

- ・1~2カ月に1回の開催

- ・障がい者を取り巻く地域の課題についての協議

○部会内作業グループの立ち上げ

- ・就労系福祉事業所ワーキンググループ(就労支援部会 5月)

- ・重症心身障がい児・者支援コンダクターチーム(療育支援部会 研修会年4回開催)

○全体会(1回)

○運営協議会(2回)

○研修会、視察研修の実施。

- ・重症心身障がい児・者支援研修会

(重症心身障がい児・者支援コンダクターチーム立ち上げの会)

- ・障がい者就労の現場視察研修の実施

- ・療育研修会 3回

- ・郡特別支援教育連携協議会開催(共催:郡町村教育委員会連絡協議会)

- ・こころの健康を考える講演会(主催:ともに、木曾保健所 94名参加)

○「木曾地域自立支援協議会だより」の発行 郡内全戸配布(年3回)

4. 苦情(相談)報告 (2件)

- ・就労準備のための「研修会」における対応について

- ・ワークステーションすてっぷで長期休暇等について

5. その他の主な月別事業報告

4月

7日	木曾養護学校入学式	18日	木曾郡特別支援教育 コーディネーター連絡会(木曾養)
14日	木曾養護学校保護者会 (センター説明、登録依頼)	24日	区分認定調査委員研修会
16日	木曾養護学校同窓会総会	28日	両川先生研修会(上松中)

5月

10日	木曾病院 保健福祉関係者連絡会	26日	木曾養護学校 地域福祉関係者懇談会
16日	県)自立支援協議会 療育部会	28日	木曾郡身体障がい者福祉協会連 合会福祉大会 在宅者交流会
17日	県)精神障がい者 地域生活支援 Co 連絡会議	29日	県)就労支援部会 両川先生研修会(日義小中)
18日	木曾地域自立支援協議会 打ち合せ会議	31日	特別支援教育連携協議会 運営委員会
22日	両川先生研修会(南木曾中)	31日	難病患者・家族交流会
23日	県)相談支援強化会議		

6月

3日	木曾郡スポーツ交流会 木曾郡手をつなぐ育成会総会	27日	県)人材育成部会
12日	相談支援関係者連絡会	28日	木曾養護学校研修会 (木曾自立支援協議会後援)
13日	県)自立支援協議会		

7月

3日	木曾養護学校評議会 木曾郡特別支援教育連携協議会	18日	県)相談支援強化会議
5日	木曾地域自立支援協議会 運営協議会、全体会 木曾地域世話人連絡会	21日	県)自立支援協議会 療育部会
		25日	相談支援関係者連絡会
		27日	きそこどもセンター、ともに運営 協議会

8月

- | | | | |
|-----|----------------------------|-----|-----------------------|
| 3日 | 木曾保健所 ディケア
権利擁護研修会(松本市) | 27日 | 発達障害児者
医療、福祉合同研修会 |
| 8日 | 木曾町精神保健福祉関係者
連絡会 | 30日 | 地域で暮らそうフォーラム
実行委員会 |
| 22日 | 相談支援関係者連絡会 | 31日 | ひのきの里総合福祉センター
避難訓練 |
| 24日 | 県)人材育成部会 | | |
| 25日 | 子育て講演会(大桑村) | | |

9月

- | | | | |
|-----|----------------|--------|---------------------|
| 8日 | 生活支援部会視察研修 | 22日 | 県)人材育成部会 |
| 13日 | 県)就労支援部会 | 23~25日 | 基幹相談支援センター
全国研修会 |
| 14日 | 就労支援部会視察研修 | | |
| 20日 | 県)自立支援協議会フォーラム | 27日 | 相談支援関係者連絡会 |

10月

- | | | | |
|-----|-----------------------|-----|------------------------|
| 1日 | 在宅者交流会(伊那市) | 25日 | 木曾郡 GH 世話人連絡会 |
| 17日 | 木曾地域自立支援協議会
運営協議会 | 31日 | 南木曾町健康づくり計画
策定実務者会議 |
| 24日 | 地域で暮らそうフォーラム
実行委員会 | | |

11月

- | | | | |
|--------|---|-----|--------------------------|
| 7日 | 県)人材育成部会 | 22日 | 障がい者虐待防止・
権利擁護研修会 |
| 10、11日 | 地域で暮らそうフォーラム
(諏訪市) | 25日 | 発達障がい者就労支援研修 |
| 14日 | 県)自立支援協議会 | 27日 | 木曾地域自立支援協議会
調整会議・打合せ会 |
| 17日 | 障害者就業・生活支援
センター南関東ブロック
経験交流会(甲府市) | | |

12月

- | | | | |
|-----|------------------------------|--------|---------------------------------|
| 6日 | 障がい者就業支援セミナー
(木曾合庁) | 11日 | 木曾圏域療育事業検討会議 |
| 9日 | こころの健康を考える講演会
(木曾町交流センター) | 12~15日 | 障害者就業・生活支援センター
一就労担当者研修(千葉県) |
| 10日 | 在職者交流会 | 12日 | 県)相談支援強化会議 |
| | | 15日 | 県)人材育成部会 WG |

1月

- | | | | |
|-----|--------------------------------|-----|------------|
| 13日 | 重心コンダクターチーム会研修
会(木曾町保健センター) | 21日 | 在職者交流会 |
| 15日 | 県)就労支援部会、人材育成部会
権利擁護部会 | 23日 | 相談支援関係者連絡会 |

2月

- | | | | |
|-----|------------------------|-----|---|
| 4日 | 在職者交流会 | 23日 | 世話人連絡会、センター見学会
木曾養護学校高等部3年生 |
| 7日 | 発達障がい
サポートマネージャーWG | 26日 | 障害者就業・生活支援
センター労働局中間監査 |
| 8日 | 県)特別支援教育地区代表会議 | 28日 | 精神障がい者地域生活支援
コーディネーター連絡会
大桑村第5期障がい福祉
計画検討委員会 |
| 13日 | 県)相談支援強化会議 | | |
| 15日 | 地域生活支援拠点整備
事業説明会 | | |
| 22日 | 木曾町第5期障がい福祉
計画検討委員会 | | |

3月

- | | | | |
|----|------------------------|-----|----------------------------|
| 1日 | 県)療育部会、重心 WG | 12日 | 自殺対策研修会、連絡会
発達障がい就労支援研修 |
| 2日 | 県)人材育成部会 | 16日 | 災害時要配慮者支援研修 |
| 5日 | 県)就労支援部会 | 17日 | 木曾養護学校卒業式 |
| 9日 | 障害者就業・生活支援
センター連絡会議 | 20日 | 県)自立支援協議会 |

22日 発達障がい支援対策協議会
障害者就業・生活支援
センター連絡協議会

ワークステーション「すてっぷ」事業報告（就労継続支援 A 型事業所）

すてっぷ事業総括

平成 21 年 5 月に就労継続支援 A 型事業としてワークステーション「すてっぷ」の事業が始まり 9 年が経過しました。就労収益を上げ、障がい者雇用を図ることが大前提の事業であるため、平成 28 年 9 月で就労移行支援事業を廃止し 10 月からは就労に特化した A 型の単独事業として運営してきました。運営面に関しては開所当初から大変厳しい状況があり、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間以外は赤字の運営が続いています。原因としては定員に対する雇用不足による自立支援給付費収入の不足が一番の要因に挙げられます。もう一つは、この事業を行うためには国の配置基準(7.5:1)に沿った職員配置だけでは間に合わないため、職員数が配置基準以上になっているためです。これらの課題をクリアするためには、就労収入を増やし、障がい者雇用も増やすことで運営費収入を上げるしか方法はありません。しかし、パンの製造販売額は人口の減少と共に減少する可能性があります。平成 29 年度は対前年比で 177 万円増収となっていますが、人口の減少と少子高齢化によりこれ以上の収入を見込むことは困難かと思われます。もう一つの製造部門であるクッキー等菓子製造販売においても、第 1 工場・第 2 工場を合わせると昨年同様 526 万円の収入となっていますが、昨年より収入は伸びていません。この原因は、職員が忙しくて新たな販売先が増えなかったためです。これまでも一般販売にとどまらず、企業とのタイアップや、郡外・県外へ販売先を求めて、販売を始めていますが、現状の職員体制の中では新たな販売先の開拓は難しく、専門の営業マンが必要と感じています。

受託事業部門における託児事業では、平成 27 年 4 月より企業側の都合により一時休止となっていました。昨年 9 月から事業が再開しました。清掃受託部門は上松町からの委託時間が増えたこともあり順調な運営ができています。

1. 就労継続 A 型事業の内容

- 定員 就労継続支援 A 型事業 20 名
- 勤務日 月曜日から土曜日(月稼働日 25 日～26 日)

1) 製造・販売事業

○パン工房「ほっぺ」においてパン・クッキーの製造販売

営業は月曜日から土曜日(祝日も場合により営業) 利用者業務時間 8:30~14:30

・販売は注文販売と上松町内での固定売場

注文販売	—	販売先は別紙の通り
固定販売	—	上松町は「大沢商店」、喫茶「will」 木曾町は道の駅「木曾市場」

2) 受託事業

○清掃受託業務

・勤務日は月曜日から金曜日 業務時間 一日勤 8:45~14:45

・平成29年度清掃業務受託先— 上松荘 ひのきの里総合センター

2. 就職活動実績

年度	男性	女性	計	就職に結び付いた人数
就職説明会参加	3名	0名	3名	0名
企業職場実習	3名	0名	3名	0名
延べ人数計	6名	0名	6名	0名

3. 平成29年度すてっぷ職員配置(常勤換算)

平成29年3月31日現在 ※合計額には施設長は含まず

職名	施設長	サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	就労支援員	計(※)
職員数	0.1(兼務)	1.0	8.0	1.0	0	10.0

4. 障がい別の雇用状況

	知的障がい	身体障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	計
年度当初	7名(1)	4名(1)	3名	1名	1名	16名
年度末	6名(1)	4名(1)	3名	1名	1名	15名
増減	-1	±0	±0	±0	±0	-1

※ ()内の人数は、知的障がいと身体障がいの重複者であり、障がいの重い方でカウントしています

5. 就労収入・支出、時給単価等の推移

平成 29 年 3 月 31 日現在

年度	就労収入額	就労支出額	就労関係積立金
平成 22 年度	13,489,732 円	15,604,883 円	0 円
平成 23 年度	22,179,559 円	24,149,244 円	0 円
平成 24 年度	26,899,295 円	26,379,878 円	0 円
平成 25 年度	26,896,029 円	27,031,434 円	0 円
平成 26 年度	30,077,361 円	29,373,232 円	700,000 円
平成 27 年度	29,901,415 円	28,505,183 円	1,396,232 円
平成 28 年度	27,957,610 円	28,457,610 円	996,000 円
平成 29 年度	31,364,694 円	30,207,693 円	1,157,001 円

◆平成 29 年度 就労収入額の内訳

平成 29 年 3 月 31 日現在

就労事業	平成 28 年度	平成 29 年度	差 額
パン製造販売収入	17,652,308 円	19,423,408 円	1,771,100 円
クッキー製造販売収入	5,266,682 円	5,262,536 円	▲4,146 円
清掃受託収入	4,363,620 円	4,453,750 円	90,130 円
託児業務受託収入	675,000 円	※2,225,000 円	1,550,000 円
その他販売収入(ジュース他)	0 円	0 円	0 円
その他受託業務	0 円	0 円	0 円
合 計	27,957,610 円	31,364,694 円	3,407,084 円

※ 平成 29 年度は 9 月から託児事業が開始されたため、託児収入は年間 4,725,000 円(税込)ですが、この金額の中には施設運営費として保育士の人件費も入っていますので、按分し就労収入は 2,225,000 円としています。

平成 28 年度は企業側の都合により 4 月 1ヶ月分 675,000 円の受託でした。

◆過去3年間の賃金実績比較

年 度	長野県最低賃金	すてっぷ支払単価	平均支給月額
平成 27 年度	746 円	746～830 円	78,398 円
平成 28 年度	770 円	780～830 円	80,138 円
平成 29 年度	※795 円	800～830 円	81,378 円

※毎年 10 月 1 日に最低賃金改定

こまくさワークセンター事業報告

平成 19 年 5 月に事業を開始した『こまくさワークセンター』は、11 年を終えました。29 年度は、新たな事業はなく、従来から本体で取り組んでいるリサイクル事業、ひのきアートフラワー、企業からの内職受託、サテライトで取り組んでいる Cafe I will 笑ん館パン工房 新製造販売 の充実を目指して活動してきました。

利用者については、4月に新たに2名の方の利用がはじまりましたが、以降は移動がなく、年間を通して安定した運営を行うことが出来ました。しかし利用者の中には心身の状態が不安定で欠席が長期に及んでいる方や月に数日しか出勤できない方もみえます。また以前からの課題である「利用者の高齢化」も進行している中、多くの利用者の方が体調を崩すことなく毎日元気に通ってきていますが、全般的に各人の作業内容には十分な配慮が必要であり、日々の健康面でのチェックも重要となっています。よって今後も、利用者の意向を尊重したうえで、関係機関との連携を取りながら、利用施設の見直しについても進めていくことが必要となっています。

1. 利用状況 (年間開所日数 324 日)

29 年度 利用実績		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
B型	登録数	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	*
	延利用	558	545	597	540	524	561	539	533	545	496	494	543	6,475
笑ん館	登録数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	*
	延利用	54	51	57	56	50	49	46	51	46	46	46	53	605

2. 就労事業の状況

就労事業について、27 年度にはじめて事業収入が 1,000 万円をこえることが出来ました。今年度も順調に売り上げを伸ばし、過去最高となる 11,741,190 円を記録することができました。その要因としては、企業内職を安定して供給してもらえたことがあがり。また、パン工房とカフェの売り上げも増収となりました。このサテライト事業の増収は、地域に根ざしたスタイルでの事業展開が評価されていると考察できます。半面創業から取り組んでいる

有機肥料については年々減収となっています。高齢化の進行で農業に取り組む人が激減しているのではとも考えますが、今後の検証が必要となります。

事業収入が好調であったことから、利用者の平均工賃月額についても、17,979円から大きくアップし 20,125円となり、工賃工場計画の29年度も目標値を大きく超えることができました。これに満足することなく、今後も工賃アップに向けて取り組んでいきたいと考えます。

3. 主な活動状況

4月

1日(土) 法人始業式	20日(木) 郡ふれあいスポーツ交流会 実行委員会(合庁)
14日(金) 王滝村 有機肥料出張販売	
17日(月) 自立支援協・就労支援部会 (合庁)	20日(木) 法人サビ管連絡会議
	24日(月) 28年度ボーナス支給

5月

2日(火) 開所記念 外出 (GW休暇) 笑ん館 2~4 こまくさ 3~7	22日(月) 法人サビ管連絡会議
15日(月) 自立支援協・就労支援部会	25日(木) (養)職場実習打ち合わせ
	26日(金) 法人会計監査

6月

1日(木) 避難訓練	19日(月) 法人評議員会 自立支援協・就労支援部会
5日(月) 法人理事会	
7日(水) (養)高等部1年職場見学	28日(水) 法人サビ管連絡会議

7月

7日(金) 藪原祭り ~8日(土)	21日(金) 苦情解決第三者委員相談日
15日(土) 大宮神社祭礼・悪魔払い	24日(月) 自立支援協・就労支援部会
20日(木) 郡ふれあいスポーツ交流会 実行委員会(合庁)	28日(金) あおぞら自転車町長室 法人サビ管連絡会

8月

3日(木) 木曾養職員施設見学

11日(金) こまくさ、笑ん館 大そうじ

14日(月) 盆休み ~16日

24日(木) 町地域おこし協力隊
打ち合わせ

9月

5日(火) 上松電子担当者との
打ち合わせ

6日(水) 安全運転管理者講習
(文化公園)

7日(木) 協和工業工業長との
打ち合わせ

14日(木) 自立支援協・就労支援部会
視察研修

26日(火) 県サービス事業者集団指導
(松本合庁)

28日(木) 法人サビ管連絡会議

10月

5日(木) 重心コンダクターチーム
視察研修(伊那市)

16日(月) 木曾アート展準備会議、
自立支援協・就労支援部会

18日(水) 法人理事会

22日(日) 木祖村福祉健康の集い
笑ん館パン工房・出店販売

23日(月) 木祖村道の駅
笑ん館パン・納品打ち合わせ

24日(火) 職員健康診断(上松荘)
笑ん館スタッフすてっぷで
クッキーづくり講習

126日(木) AED講習会
(講師:木曾消防署職員)
木曾アート展準備

30日(月) 法人サビ管連絡会議

27日(金) 木曾地域ボードレスアート展
~29日(日)

11月

5日(日) 皇女和宮御下向行列
笑ん館パン工房・出店販売

12日(日) 木曾郡公民館大会
笑ん館パン工房・パンづくり
教室

13日(月) 職員インフルエンザ
予防接種

20日(月) 自立支援協・就労支援部会

27日(月) 法人サビ管連絡会議

12月

1日(金)	避難訓練	18日(月)	自立支援協・就労支援部会
6日(水)	就労支援セミナー (木曾合庁)	19日(火)	法人サビ管連絡会議
8日(金)	上松町老人クラブ雑巾寄付	26日(火)	県信州花フェスタ 2019 打ち合わせ
16日(土)	木祖村住民の集い 笑ん館パン工房・出店販売	28日(木)	大そうじ、仕事納め

1月

17日(水)	緊急理事打ち合わせ会	29日(月)	法人サビ管連絡会議
22日(月)	自立支援協・就労支援部会		

2月

8日(木)	理事打ち合わせ会	27日(火)	法人理事会
9日(金)	虐待防止伝達研修 (笑ん館合同)	23日(金)	法人サビ管連絡会議

3月

7日(水)	重心コンダクターチーム 連絡会	16日(金)	県サービス事業者説明会 (松本合庁)
14日(水)	木曾人取材 法人サビ管連絡会議	22日(木)	苦情解決第三者委員相談日
		27日(火)	法人理事会

こまくさスタッフ会議、笑ん館スタッフ会議、法人代表者会議 毎月実施

利用者ミーティング 毎月末に実施

PDCA 委員会 29年度は8回開催

(職員間で就労事業の状況を確認し、売上向上を目指すために今年度より実施)

4. 行事、レクリエーションの状況

利用者の日常生活に変化を持たせ、仕事に対する意欲を継続できるよう、各機関主催の行事に積極的に参加するとともに、祭日等を利用して独自の行事やレクリエーションを取り入れました。

4月29日(土)	三徳稻荷祭礼	やきいも販売	利用者	13名参加
6月3日(土)	木曽郡ふれあいスポーツ交流会		13	〃
9月10日(日)	県障がい者スポーツ大会(松本市)		11	〃
9月23日(土)	バーベキュー会		21	〃
10月9日(月)	こまくさ・笑ん館合同ぶどう狩り		18	〃
11月3日(金)	ひのきの里秋まつり参加(やきいも販売)		12	〃
12月23日(土)	クリスマス会		20	〃

5. 在宅の重度心身障がい者の方との交流会

障がい者総合支援センター「ともに」、りんくきそと連携し、木祖村の重度心身障がい者と利用者の交流会を、笑ん館を主会場にして実施しました。(日中一時支援事業)

4月26日(水) 5月19日(金) 6月21日(水) 7月19日(水)

8月23日(水) 9月25日(月) 10月11日(水) 11月10日(金) 12月20日(水)

6. ケア会議の開催状況

障害者総合支援センター「ともに」と連携し、利用者・保護者・関係機関がつどい、随時開催されました。

4月12日(水) 3月26日(月) 3月27日(火)

7. 苦情解決相談の状況

第三者委員による相談が年2回行われました。その都度3~4名の方が利用しましたが、自らの毎日の仕事の様子やグループホームでの生活を報告することが多く、苦情相談に該当する者はありませんでした。

7月21日(金) 3月22日(木)

8. 木曾養護学校 職場実習受入状況

養護学校卒業後の受け入れ先となることを見込んで、職場実習を積極的に受け入れました。

6月26日(月)	木曾養・高等部	2年男子	～30日(金)
11月13日(月)	木曾養・高等部	1年男子	～17日(金)
11月20日(月)	木曾養・高等部	1年男子	～22日(水)
11月24日(金)	木曾養・高等部	1年女子	～29日(水)

9. 職員 専門研修

県セルプ協主催の工賃向上計画セミナーに参加し、工賃アップを目指して研修を積みました。また今後の事業の拡大をにらみ、サービス管理責任者資格の計画的取得のため研修を受講しました。更に職員のスキルアップを目的に、各種研修に可能な限り参加しました。

〈研修者〉センター長	* 福祉新聞フォーラム(東京都)	9月28日
	* 地域生活拠点事業説明会(合庁)	2月15日
〈研修者〉サービス管理責任者		
	* 虐待防止伝達研修(木曾合庁)	5月19日
	* 精神保健従事者基礎研修(松本市)	7月6日
	* 就業支援従事者研修	7月11日、8月1日
〈研修者〉目標工賃達成指導員		
	* 福祉就労強化事業 工賃向上計画セミナー (諏訪市)	7月14日
〈研修者〉生活支援員		
	* 障がい者相談支援従事者初任者研修 (松本市)	6月15日、7月6日～7日 8月1日～2日
	* サービス管理責任者(就労)研修(松本市)	1月11日、1月31日～1日
	* 児童発達支援管理責任者研修(長野市)	2月19日～20日
〈研修者〉職員複数名		
	* 感染症予防講習(木曾合庁)	11月13日
	* 法人接遇研修(上松町公民館)	1月24日
	* 上松荘職員研修会	

10. 職員の状況

※ 29年度

センター長	常勤	1名	
サービス管理責任者	常勤	1名	
職業指導員	常勤	1名	(10月からシルバーに変更)
生活支援員	常勤	1名	パート 2名
目標工賃達成指導員	常勤	1名	
シルバー人材センター派遣職員		3名	

* 笑ん館

職業指導員	常勤	1名	
生活支援員	パート	3名	

木曾こどもセンター 事業報告

発達に心配のある児童の早期療育の重要性の期待を受けて、就園に向けての基礎づくり

及び学童児の社会性を学ぶ場として児童及び保護者への支援をしています。

児童発達支援13名、放課後児童デイサービス2名が利用されました。児童発達支援のうち就園児に関しては、各町村保健師、郡内幼保育園長・主任保育士に当センターでの様子を参観していただき移行のための連絡会を行いました。

学童2名は、必要に応じて学校と連絡を随時行いながら継続支援をしております。

1. 事業形態

	児童発達支援	放課後児童デイ
対象児	就園前の幼児	小学生～18歳
平均利用者数	4～5名	1～2名
受け入れ日	月～金曜日	月～金曜日
受入れ時間	9:30～14:15	15:15～17:30
内容	就園へ向けての社会性の基礎作りと保護者への発達理解や育児の工夫、関わり方などを一緒に考えていく。	自立に向けて、本人の持っている力を引き出しながら生活スキル、自己肯定感を伸ばしていけるよう支援する。

・長期休業中は、どちらか一方の事業となります。

2. 利用状況(述べ人数)

町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
木曽町	15	20	21	19	14	21	
上松町	34	31	29	30	36	38	
南木曽町							
木祖村							
王滝村		2	2	4	4	2	
大桑村	4	8	9	5	5	7	
計	53	61	61	58	59	68	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
木曽町	34	33	38	26	36	41	318
上松町	36	26	35	31	33	31	390
南木曽町							
木祖村							
王滝村							14
大桑村	5	9	6	5	7	7	77
計	75	68	79	62	76	79	799

3. 職員の状況

- 所長……………1名(こまくさワークセンター長兼務)
- 児童発達支援管理責任者…1名
- 保育士(常 勤)……………1名
- (嘱 託)……………1名

4. 保護者の悩みや心配事を受ける形で個別相談や学習会

- ・県精神保健福祉センター職員による保護者座談会の実施
- ・理学療法士によるペアレントトレーニング6回 フォローの会2回
- ・作業療法士による相談日

5. 月別報告事項

4月 開所日数 20日

3日	OT相談日	17日	OT相談日
14日	OT相談日 見学(上松町保健師同行)	21日	こいのぼり制作
		28日	OT相談日

5月 開所日数 20日

1日	見学(王滝村保健師同行)	16日	園外保育(上田小学校)
2日	OT相談日	23日	OT相談日
8日	OT相談日		
15日	OT相談日		

6月 開所日数 21日

2日	OT相談日	16日	OT相談日
8日	防災設備点検	19日	園外保育(日義 義仲公園)
9日	OT相談日	22日	OT相談日
15日	座談会(助言者:県精神保健福祉センター心理) 保護者8名参加	23日	中南信地区母子通園訓練施設職員研修会(南箕輪村)

7月 開所日数 20日

3日	七夕制作	14日	上松町保健師来所
7日	OT相談日	18日	南部サテライト(於:大桑村保健センター)
10日	ペアレントトレーニング①(PT来所)	19日	プール遊び開始
11日	園外保育(交流センター 御料館)	26・27日	夏季休業中 木曾養学童利用
13日	OT相談日		

8月 開所日数 19日

1日	見学(大桑村保健師同行)	24日	OT相談日
2日	面談(中学生、木曾町保健師)	25日	子育て講演会(共催)希望により託児
4日	OT相談日		
10日	OT相談日	28日	園外保育(三岳 太陽の丘公園)
21日	ペアレントトレーニング②(PT来所)	30日	遊びの教室より見学(木曾町保健師同行)
22日	園外保育 来所(王滝保育園主任)	31日	OT相談日

9月 開所日数 20日

1・4日	実習生受け入れ	15日	OT相談日
4日	来所(上松町保健師)	20日	園外保育(開田 木曾馬の里)
6日	木曾町福祉係来所(環境整備相談)	22日	OT相談日
7日	来所(王滝村保健師)	26日	来所(大桑村保健師)
8日	OT相談日	28日	見学(木曾町保健師同行) 来所(木曾町家庭相談室)
11日	ペアレントトレーニング③(PT来所)	29日	OT相談日

10月 開所日数 20日

5日	コンダクターチーム 施設見学 研修会(駒ヶ根市)	19日	座談会(助言者:県精神保健福祉センター心理)保護者6名参加
6日	来所(上松町保健師)		
10日	ペアレントトレーニング④	26日	木曾郡特別支援教育連携協議会研修会
12日	園外保育(木曾駒森林高原)		
13日	玩具制作	27日	OT相談日

11月 開所日数 20日

6日	大桑村保健師同行	20日	ペアレントトレーニング⑤
9日	園外保育(元上田小学校)	21日	南部サテライト(於:大桑村保健センター)
10日	OT相談日 療育支援部会		
13日	研修会(感染症、食中毒の発生及びまん延防止)	27日	見学(上松町保健師同行)
14日	防災訓練	30日	OT相談日

12月 通所日数 19日

7日	来所(木曾圏域発達障がいサポートマネージャー)	15日	クリスマス制作 オーナメント作り
8日	OT相談会	18日	ペアレントトレーニングフォローの会(PT来所)
11日	ペアレントトレーニング⑥(PT来所)	19日	木曾ロータリークラブ慰問(2名来所)
12日	クリスマス制作	22日	OT相談日
13日	ST巡回相談(療育Co同行) 消防設備点検	27日	面談(中学生、木曾町保健師)
14日	OT相談日 来所(木曾町保健師)		

1月 通所日数 18日

12日	OT相談日	24日	研修会
16日	南部サテライト(於:大桑保健センター)	26日	OT相談日
		31日	見学(木曾町保健師同行)

2月 通所日数 19日

2日	OT相談日	20日	南部サテライト(於:大桑村保健センター)
8日	来所(大桑村子育て支援センター保育士)		来所(大桑村保健師 大桑村子育て支援センター保育士)
9日	OT相談日	21日	おひな様制作
13日	連絡会2ケース(上松町保健師 上松保育園長、主任)	22日	見学(木曾町保健師同行)
15日	OT相談日	23日	OT相談日
16日	連絡会2ケース(上松町保健師 上松保育園長、主任)	24日	午睡開始
		28日	園外保育(日義 明星岩公園)

3月 通所日数 21日

1日	連絡会2ケース(木曾町保健師 木曾幼稚園主任)	13日	OT相談日
2日	OT相談日	14日	園外保育(木曾駒森林公園)
7日	連絡会2ケース(木曾町保健師 木曾幼稚園主任)	15日	園外保育(木曾駒森林公園)
8日	連絡会(大桑村保健師 大桑村子育て支援センター保育士)	16日	OT相談日
9日	OT相談日	22日	OT相談日
12日	ペアレントトレーニングフォローの会(PT来所)	23日	園外保育(元上田小学校) 学童見学(木曾町保健師、福祉係同行)

ひのきちゃんハウスは、平成 15 年 5 月 10 日に木曾養護学校卒業生保護者の会と卒業生が集まって、「木曾養護学校同窓生生活活動の場 ひのきちゃんハウス」として現在の地(木曾町福島 1320 番地)に開所しました。運営母体は木曾養護学校同窓会ひのきちゃんハウス運営委員会でしたが、平成 26 年 6 月 1 日から当法人が運営を引き継いでいます。

ここでは生活介護事業と日中一時支援事業の 2 事業を主に行ってきました。開所当初(平成 26 年度)の生活介護利用者 1 日当たりの平均利用者は 4.4 人、平成 27 年度 6.9 人、平成 28 年度は 7.3 人、平成 29 年度は平均 8.5 人であり、徐々に利用者数が増えてきています。しかしながら定員の 10 名に対してはまだ達していない状況であり、十分な施設運営費を確保するには至っておらず、今後より一層の利用者受け入れの努力が必要となっています。

また、日中一時支援事業についても昨年度の 1 日当たりの平均利用者数は 3.5 名から、平成 27 年度 3.9 名、平成 28 年度 3.6 名、平成 29 年度 3.9 名とほぼ横ばいの状態にあり利用者の多くを占める木曾養護学校の状況を考えると、これ以上の伸びは難しいと思われますが、昨年度・今年度と地域の支援学級に通う児童の受け入れを行ない地域のニーズに対応することができました。

職員配置では、常勤の看護師を平成 27 年 9 月から配置することも出来、生活支援を含め国が定める配置基準以上の職員を引き続き確保できています。

また、ひのきちゃんハウス開所当時から行ってきた下記の事業も継続して行っています。

- 1、木曾養護学校同窓会活動支援 (総会、成人を祝う会、バスケットボール活動他)
- 2、木曾養護学校同窓生保護者会支援 (場所の提供、相談支援業務)
- 3、木曾広域連合からの委託業務である北部リサイクルセンター運営
- 4、リユース活動 (リユース品の販売)

1. 職員配置（常勤換算による）

	配置基準	職員数	備考
管理者（施設長）	0人	0.1人	兼務
サービス管理責任者	1人	1人	
看護師	1人	1人	
生活支援員（リサイクル事業含）	4人	4.5人	
嘱託医	1人	1人	
合計	7人	7.6人	

2. 平成29年度 生活介護利用者状況

区分(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
2	5	14	16	15	17	17	84	
3	33	42	39	39	39	35	227	
4	40	44	43	47	62	53	289	
5	59	67	66	65	70	66	393	
6	27	29	19	25	32	29	161	
延人数(人)	164	196	183	191	220	200	1154	
算定日数(日)	22	23	22	23	23	22	135	
平均利用者数	7.5	8.5	8.3	8.3	9.6	9.1	8.5	
区分(人)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度合計
2	21	12	10	14	15	12	84	168
3	33	28	36	28	37	56	218	445
4	47	39	46	38	46	49	265	554
5	67	59	62	38	47	28	301	694
6	29	23	25	50	35	70	232	393
延人数(人)	197	161	179	168	180	215	1100	2,254
算定日数(日)	23	22	20	20	20	23	128	263
平均利用者数	8.6	7.3	9.0	8.4	9.0	9.3	8.6	8.5

※〔定員〕 10名

〔登録者〕 16名（内訳 法人内GH9名、他法人 GH 利用者3名、その他（在宅）4名）

3. 平成29年度 日中一時支援事業利用者状況

（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
日中利用	75	75	82	92	89	93	506	
リサイクル事業	37	38	29	32	28	29	193	
木曽クラブ	0	11	10	10	10	9	50	
延利用者数(人)	112	124	121	134	127	131	749	
延利用時間(h)	603.5	549.5	513.5	782	774	570	3,792.50	
（人）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度合計
日中利用	72	65	61	55	63	73	389	895
リサイクル事業	38	35	37	38	39	39	226	419
木曽クラブ	10	10	10	0	9	10	49	99
延利用者数(人)	120	110	108	93	111	122	664	1,413
延利用時間(h)	628	536	568	476	585.5	787	3,580.50	73,730

※〔定員〕15名

〔登録人数〕 45名（日中一時利用20名、リサイクル7名、木曽クラブ18名）

4. 平成29年度施設整備状況

工事内容	工事費用	科目
2階居室冷房設備設置工事	2,687,040 円	固定資産取得費
階段昇降機設置工事	1,782,000 円	固定資産取得費
間仕切り工事	440,000 円	修繕費
空調機室外機ドレイン設置工事	189,000 円	固定資産取得費
合計	5,098,040 円	

6. 平成29年度 リサイクル事業の状況

1、ひのきちゃんハウスでおこなっている木曾広域連合からのリサイクル委託事業については、平成29年度は正月休暇の6日間を除く359日の受入をしました。

2、リユース事業におけるリユース品販売実績と分配について

収入実績	1,188,976 円
利用者還元額	1,013,200 円
諸経費	175,776 円

➡ 木曾養護学校 0B へ支給

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
来客数(人)	351	360	378	389	379	349	2,206	
売上高(円)	124,996	155,030	126,300	131,481	116,871	112,965	767,643	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度合計
来客数(人)	354	334	344	252	269	285	1,838	4,044
売上高(円)	133,600	119,075	95,351	78,607	74,642	88,144	589,419	1,357,062

7. 今後の課題と対策

◆生活介護事業

事業の柱となる生活介護は前年度よりは利用者数は増えたもののまだ定員には達しておらず安定した施設運営のためにさらなる利用者の増加が必要となっています。現在のところ日中一時支援事業収入と木曾広域連合からのリサイクル事業受託の安定した収入があることにより施設運営費自体は独自で賄えるようになっていきます。今後、利用者増員に向けて各関係機関への働き掛けと利用しやすい環境を整えるためのハード面の整備が必要となっています。

◎今後ハード面で必要とする整備

- ・脱衣所・階段踊り場等の建物内の雨漏り対策
- ・古い照明器具をLED照明器具へ交換
- ・2階床面の補修
- ・冬場、屋根からのつらら対策
- (頭上落下の危険があるが、抜本的な対策は取れていない。木曾広域連合とも協議中)

◆日中一時支援事業

この事業はこれまで木曾養護学校の生徒や、卒業生の日中一時預かりを主にを行ってきた事業ですが、現役生徒の減少により利用者の減少傾向にある中で地域の支援学級に通う児童の定期的利用や在宅の精神障害の方の緊急利用等これまでにない形での利用が見られています。今後はこうした地域の細かなニーズを拾い上げながら利用者の確保を図っていきたいと考えています。

◆リサイクル事業リユース事業

この事業は木曾広域連合からの委託事業で行っている事業です。現在、年間1万件以上の資源物の持ち込みがある中、敷地内の整理整頓等に木曾養護学校卒業生等が活躍しています。引き続き地域の方に利用してもらえるよう広報等で周知していきたい。

◆木曾養護学校同窓会活動支援

会員は年々増加していますが、各種行事への参加者が減少傾向にあり行事の見直しと会のあり方の再見当が課題となっており、今後当事者や保護者会・養護学校等の意見を聞きながら対策を考えていきたいと思ひます。